【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公表番号】特表2014-517834(P2014-517834A)
【公表日】平成26年7月24日(2014.7.24)
【年通号数】公開・登録公報2014-039
【出願番号】特願2014-510466(P2014-510466)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　33/12　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　25/10　(2006.01)
Ａ０１Ｐ　 3/00　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　 1/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　33/12　１０１
Ａ０１Ｎ　25/10
Ａ０１Ｐ　 3/00
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５１０Ａ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５３２Ｂ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５３２Ｃ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５３２Ｄ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５３２Ｈ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５３２Ｊ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５４０Ｃ
Ｃ０２Ｆ　 1/50　５５０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月17日(2015.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
親水性の架橋されたポリマーネットワークに同伴された１種以上のイオン性の界面活性剤を含む固体殺菌剤であって、該ポリマーネットワークは無定形でスポンジ状の固体であり、少なくとも幾分かの０．８５μｍ未満の直径を有する孔と、より大きい孔を含み、それらがまがりくねった経路によって接続されている、固体殺菌剤。
【請求項２】
前記ポリマーネットワークが１種以上の高分子電解質を含む、請求項１記載の固体殺菌剤。
【請求項３】
前記ポリマーネットワークが本質的には高分子電解質から成る、請求項１記載の固体殺菌剤。
【請求項４】
１種以上の高分子電解質が吸湿性である、請求項２または３記載の固体殺菌剤。
【請求項５】
前記ポリマーネットワークが１種以上の高分子両性電解質を含む、請求項１記載の固体殺菌剤。

【請求項６】
該固体が活性な殺生物剤を含まない、請求項１から５のいずれか１項記載の固体殺菌剤。
【請求項７】
前記のより大きい孔が、１０μｍまでの直径を有する穴を少なくとも幾分含む、請求項１から６のいずれか１項記載の固体殺菌剤。
【請求項８】
該固体がフィルターとしての使用のために適合されている、請求項１から７のいずれか１項記載の固体殺菌剤。
【請求項９】
１種以上のタイプのバクテリアを含む水性液体を処理する方法であって、該水性液体を、請求項８記載のフィルタの上または中を通過させ、処理された水性液体を提供することを含む方法。
【請求項１０】
該処理された水性液体が、摂取された時に無毒である、請求項９記載の方法。